スペイン語 español

!Bienvenidos al mundo hispánico! ～スペイン語の世界にようこそ

- たくさんの国と地域で話されている。→世界で21の国と地域の公用語であり、4億人をゆうに超えるひとびとが母語としてスペイン語を話します。国連の公用語でもあります。
- 混交するさまざまな文化・文明（ローマ、イスラム、マヤ、インカ……）をスペイン語がつなぐ。
- 日本語と同じく母音が5つ。巻き舌だって慣れれば快感。なにより響きが美しい。
- サッカー！　音楽＆ダンス（サルサ、レゲトン、タンゴ、フラメンコ）！　マチュピチュ！　イベリコ豚！　ガウディ！

世界にまたがる広大なスペイン語圏

日本の約1.3倍の国土に4600万人を超える人が居住するスペイン。もちろん、「スペイン語」はこの国名に由来しますが、スペイン語は「スペイン」だけのものではありません。南北アメリカ大陸では、じつに19の国と地域でスペイン語が公用語とされています。アフリカ大陸にも赤道ギニア共和国があります。

公用語となっていなくてもスペイン語を話すひとが多い国もあります。最短距離たった14キロほどのジブラルタル海峡をはさんでスペインと向かい合うモロッコ、16世紀のフェリーペ二世王から名前を取ったフィリピン。メキシコと国境を接するアメリカ合衆国にもスペイン語話者は多く、2050年には世界で一番スペイン語話者を抱える国になることが予想されています。スペイン語を話すひとは、じつに世界で５億以上になります。そのため、スペイン語は、英仏中露アラビア語と並んで国連の公用語となっています。

España
スペイン

❶キリストの使徒ヤコブの眠る地まで、中世以来の巡礼街道が続きます。
❷毎日どこかで祭が行われるとも言われ、世界中から観光客を集めています。
❸天才たちの国とも呼ばれるスペイン。画家ベラスケス、ゴヤ、ピカソ、建築家ガウディもスペイン生まれです。
❹太陽を浴びて育ったくだものや野菜。海に囲まれているため魚介類も楽しめます。
❺スペインは世界遺産の宝庫。自然遺産はもちろん、文明の交差点ならではの文化遺産がいっぱい。

各国語紹介

Hispanoamérica
スペイン語圏アメリカ

①メキシコ
②グァテマラ
③エルサルバトル
④ホンジュラス
⑤ニカラグア
⑥コスタリカ
⑦パナマ
⑧キューバ
⑨ドミニカ共和国
⑩エクアドル
⑪コロンビア
⑫ベネズエラ
⑬ペルー
⑭ボリビア
⑮チリ
⑯アルゼンチン
⑰パラグアイ
⑱ウルグアイ
⑲プエルトリコ
（アメリカ合衆国の自由連合州）

複数の世界の「出会い」

文明の交差点

ヨーロッパ大陸西端に位置するイベリア半島は、「ヨーロッパとアフリカの混血半島」ともいわれます。さまざまな民族･国家による覇権争いのすえに半島全体をまとめて支配下に置いたのは、ローマ帝国でした。紀元前206年から400年までローマの属州となった半島はHispania（ヒスパニア）と呼ばれるようになります。

ローマの公用語はラテン語でしたが、一般民衆が日常的に話していたのは土地によって違う口語（俗）ラテン語でした。そこから生まれたのが現代のスペイン語であり、イタリア語・フランス語・ポルトガル語なども同じような生まれをもつ姉妹言語です。

スペインをヨーロッパで類を見ない地にしたのが、約700年にわたるイスラム国家の存在です。711年にアフリカ北岸を経由してやってきたイスラム勢力が、短期間でイベリア半島の大部分を征服しました。その後、国土回復戦争が始まりましたが、完全にイスラム国家が消滅したのは1492年のことでした。南部のアンダルシア地方にはグラナダのアルハンブラ宮殿やコルドバのメスキータをはじめとする魅力的なイスラム建築が現存します。また、長く続いた戦争のあいだには、キリスト教・イスラム教・ユダヤ教の三つの宗教文化の共存が見られた時代もあり、宗教および民族の違いが深刻な紛争の種となっている現代社会にも大きな教訓となりえるでしょう。

アメリカ大陸のスペイン語圏

スペイン一国をとっても非常に魅力的ですが、スペイン語世界の豊かさを語るうえでイスパノアメリカ（スペイン語圏アメリカ）の国々を見過ごすわけにはいきません。

1492年、半島からのイスラム国家消滅と交代するかのように、カスティリャ王国（現在のスペインの基礎となった国家のひとつ）から援助を得たコロンブスが現在のアメリカ大陸に到着します。そこからヨーロッパ世界による「新」大陸の征服が始まり、スペインは広大な植民地を手にします。当時、アメリカ大陸にはすでに先住民がひろく分布していました。メキシコ周辺地域のマヤやアステカ、アンデス地域のインカなど、スペイン人到達以前に高度でユニークな文明も存在していました。

520年以上前の出会いは、「征服」された側に悲劇と現在にまで至る苦悩をもたらしたことも事実です。植民地は19世紀前半から次々と国家として独立していき、現在ではアメリカ大陸にスペイン領はありませんが、300年以上にわたる植民地時代を通して浸透したスペイン語とカトリック信仰を共通基盤として緊密な関係を維持しています。

遠い「隣人」ー日本からの移民

スペイン語圏アメリカの地図を見て、名前も聞いたことがない国が多いと思ったひともいるかもしれません。距離からいえばたしかに遠い国々ですが、100年ほど前から1960年代まで、ペルーやボリビア、パラグアイ（世界一の親日国！）などのアメリカ大陸諸国には政府主導の集団移住が行われ、今ではその国を形作るうえで欠かせない民族グループになっています。また､「日系」外国人として来日し勉学や労働に励む姿も珍しくありません。まずは川崎で沖縄＆ペルーのミックス料理を味わったり、横浜のみなとみらい地区に行ったついでに、JICAの海外移住資料館に足をのばしてみませんか？

スペイン語圏から日本には・・・

経済的関係を身近に感じられるのは、やはり相手国からやって来た産品を手に取ったり使ったりするときでしょう。スペインのブランド物というと長いことLoeweロエベ（バッグなど皮革商品）やLladróリヤドロ（陶磁器人形など）などの高級品だけが知られてきましたが、今ではZaraザラ、Camperカンペール、Desigualデシグアルなどの若い世代向けのブランドも人気を集めています。

また、最近話題になったスペイン産お役立ちグッズと言えば､LéKuéルクエのシリコンスチーマーでしょう。電子レンジで簡単に蒸しものができる便利な道具です。お世話になっている人もいるのでは？食事つながりで言えば、チリやアルゼンチンからは値段の割においしいワインがたくさんやってきています。

スペイン語を学ぼう！

言語的特徴と学習のポイントは？

●母音が５つだけ、しかも日本語の母音と似ているため発音がしやすい。したがって、最初にきっちりアクセントと発音の規則を覚えれば、初めて見る難解な語でも正しく発音できる。

●語順が比較的自由、しかし動詞の活用をしっかり学ぶこと、基礎をがっちりやることが上達の秘訣。

もっと！ スペイン語を学ぼう

卒業のため必要とされる単位を取ったあとも、希望者は勉強を続けることができます。具体的な科目名や単位数は、初習外国語全体の説明を読んでください。

ほかに、

・語学研修プログラム

スペインの首都マドリッドで約一カ月のプログラム。生活と密着してスペイン語を学びます。詳しくは入学後に国際センターの留学ハンドブックをチェック。

・スペイン文部省認定・外国語としてのスペイン語検定試験 Diploma de Español como Lengua Extranjera（DELE）受験準備講座

課外活動の一環として実施します。

などを利用して、さらにスペイン語に親しむことができます。

スペイン語世界は動いている

スペイン語という共通言語を持つ多様な国々が、社会･経済･民族などの課題にそれぞれに取り組む姿を直接読み解いてみませんか？

2015年７月、キューバとアメリカ合衆国との外交関係が54年ぶりに再開されました。スペイン語圏唯一の社会主義国であるキューバが、経済制裁を解かれ〔開かれる〕ことでどのように変化していくのか、これからの動向から目が離せません。

一方、海を隔てたスペインでは深刻な経済危機を背景に2011年に８年ぶりの政権交代が実現しましたが、状況が改善されたとは言えません。ユーロ圏17カ国中第４位の経済規模を持つスペインの経済危機は、ユーロ圏そのものの屋台骨を揺るがしかねない問題となっており、もちろん日本とも深くつながっています。

予備知識なしでも楽しめる本や映像資料、サイトを紹介します。

書籍

ふくろうの本（河出書房新社）で読む・見る：『図説ガウディ』、『スペインの歴史』、『古代マヤ文明』
とんぼの本（新潮社）で読む・見る：『スペインは味な国』、『新アルハンブラ物語』、『サンティアゴ巡礼の道』
たべものと食文化：『スペインのBARがわかる本』（川口剛）、『アマゾン源流　食の冒険』（高野潤）
サッカー：『カンプノウの灯火 メッシになれなかった少年たち』（豊福普）
ユニーク旅：『めきめきメキシコ　情熱と暴走とチューのメキシコ旅行』（Kuma*kuma）
『関口知宏が行くスペイン鉄道の旅』、『中南米スイッチ』（旅音）

ビデオ・テレビ

- スペインの人気監督ペドロ・アルモドバルの『オールアバウト・マイマザー』、『ボルベール』、『抱擁のかけら』
- スペインのフェレラス監督によるアニメ映画『しわ』。2013年、ジブリ配給で日本でも公開され話題を呼びました。
- クラシック音楽を通して青少年を育成するベネズエラの「エル・システマ」と、ここから生まれた世界水準のオーケストラの演奏『プロミス・オブ・ミュージック』
- 革命家チェ・ゲバラに関する映像はさまざまありますが、若き日の旅を綴る『モーターサイクル・ダイアリーズ』がお薦め。
- サッカー好きには『BARÇA DREAMS FCバルセロナの真実』 はいかが？
- ラテンミュージック（と踊り）は日本でも大人気。MTV unpluggedのDVDシリーズ日本版には、シャキーラ（コロンビア）、リッキー・マーティン（プエルトリコ）などがあります。
- Eテレのスペイン語講座で前もって雰囲気を味わっておくのも楽しいかも。ニュースに興味のあるひとは、衛星放送のWorld Waveをチェック。ほかに、NHKおよびTBSの世界遺産番組、テレビ東京系の『美の巨人たち』にはよくスペイン語圏が登場。図書館などで世界遺産のDVDを見るのもいいでしょう。

こんなサイトをのぞいてみよう

- Embassy Avenue在日各国大使館公式サイトへのリンク（パラグアイ、エクアドル、パナマ大使館などのサイトにつながります）
  http://www.embassy-avenue.jp/
- セルバンテス文化センター　スペイン語講座はもちろん、土曜日の映画など、無料の文化プログラムも豊富です。
  http://tokio.cervantes.es/
- 横浜にある海外移住資料館ウェブサイト　http://www.jomm.jp/
- ペルーのリマにある天野 プレコロンビアン織物博物館のサイト　http://jp.museoamano.org/
  実業家・天野芳太郎氏が開いたアンデス文明博物館・Museo Amano.
  華やかで繊細な染織物や、その原材料・道具の一部を見ることができます。

マチュピチュ（ペルー）

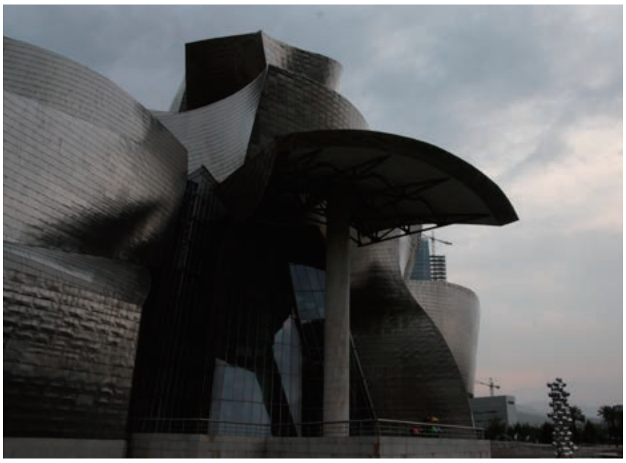
マドリッド（スペイン）

バルめぐりも楽しい

タパス盛り合わせ

チュロス

アルハンブラ宮殿（グラナダ・スペイン）



グッゲンハイム・ビルバオ美術館（スペイン）

ビーニャ・デル・マール(チリ)

各国語紹介

おわりに

スペインならばフラメンコと闘牛、「アツイ」国民性。アルゼンチンならタンゴとサッカー、ボリビアやペルーだったらインカ帝国とフォルクローレ、メキシコはタコスやテキーラ。しかし、地図と一緒に紹介したトピックはその国の「全部」ではありません。サッカーが好き、エコツーリズムに興味がある、ファネスの歌をスペイン語で歌ってみたい、トマト投げ祭に参加したい、『ドン・キホーテ』をスペイン語で読んでみたい（！）、そんな夢やあこがれから始めてもいい。なんとなくスペイン語の響きが好き、それも立派な理由です。言語としてのスペイン語学習だけにとどまらず、スペイン語の楽しさ美しさやスペイン語世界の魅力をみなさんとわかちあうことができれば、教員一同とてもうれしく思います。

またすぐにお会いしましょう — !Hasta pronto!